

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 オリコン株式会社

コード番号 4800 URL <http://www.oricon.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業広報部長 (氏名) 日高輝明

TEL 03-3405-5252

四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,259	△7.2	157	23.2	145	27.4	76	59.6
25年3月期第1四半期	1,357	△16.8	127	△44.9	113	△44.2	47	△58.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 73百万円 (56.5%) 25年3月期第1四半期 46百万円 (△60.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.16	5.16
25年3月期第1四半期	3.21	—

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定し、上記に記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	4,427	1,980	44.4	133.41
25年3月期	4,454	2,025	45.1	136.42

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,965百万円 25年3月期 2,010百万円

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定し、上記に記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「年間配当金」を算定し、上記に記載しております。

平成26年3月期については、当資料の開示時点において合理的に業績予想数値を算出できないため、配当予想額についても未確定であります。業績予想数値を合理的に算出できるようになった時点で、当該予想数値とともに、配当予想額についても公表する予定です。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

連結業績予想については、当資料の開示時点において、合理的に予想数値を算出することが困難であるため、記載しておりません。算出が困難である理由等については、添付資料3ページの「(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」に記載しておりますので、ご覧下さい。なお、今後、合理的な算出が可能になった時点で、予想数値を公表する予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、除外 1社 (社名) オリコンDD株式会社
平成25年4月1日付で、株式会社oricon MEを存続会社とし、オリコンDD株式会社を消滅会社とする吸収合併を行いました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	15,795,000 株	25年3月期	15,795,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,060,000 株	25年3月期	1,060,000 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	14,735,000 株	25年3月期1Q	14,855,000 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」を算定し、上記に記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国の経済は、過度な円高が修正され、株価も上向くなど、景気回復への期待感が高まりましたが、海外経済の減速懸念や輸入品価格の上昇など、国内景気の押し下げ要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

一方、国内の情報通信の分野においては、通信キャリア各社がスマートフォンの販売を継続的に強化しており、家電量販店の実売データを集計した「BCNランキング」(株式会社BCN公表)によれば、平成25年4月度スマートフォンの販売台数は、前年同月と比べ7.2%減少したものの、5月度、6月度については、それぞれ前年同月比26.6%増、47.9%増となり、前年同月と比べ大きく伸びました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間において当社グループでは、スマートフォンへの対応を積極的に推進し、スマートフォン向け音楽配信サービスが前年同期と比べ35.6%の増収となり、スマートフォン向けサイトの広告販売も前年同期と比べ58.0%の増収となりました。しかしながら、従来型携帯電話(フィーチャーフォン)向けの着うたフルと着うたが、市場全体の縮小に伴っていずれの売上高も前年同期を下回り、これらの減収額が当第1四半期連結累計期間の連結業績に大きく影響し、売上高は前年同期比98,110千円減(7.2%減)の1,259,443千円となりました。利益面については、広告や着メロなど利益率の高い売上が増加し、着うたフルや着うたなど利益率の低い売上が減少したため、全体として利益率が向上し、営業利益は前年同期比29,595千円増(23.2%増)の157,365千円、経常利益は前年同期比31,202千円増(27.4%増)の145,103千円、四半期純利益は28,427千円増(59.6%増)の76,093千円となりました。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

①コミュニケーション事業

顧客満足度(CS)ランキング連動型広告については、「来店型保険ショップ」(平成24年11月～)、「食材宅配サービス」(平成25年3月～)などの新規ジャンルの売上が加わったことなどが寄与し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ5.8%増加しました。顧客満足度(CS)ランキング連動型広告以外のWEB広告商品についても、スマートフォン向けサイトの広告販売が伸びたほか、タイアップ型広告の販売も堅調に推移し、WEB広告全体の売上高は、前年同期と比べ4.1%増加しました。一方、法人向けに提供していたフィーチャーフォン用着せ替えコンテンツの販売を平成24年8月で事業撤退したため、当該売上が当第1四半期連結累計期間においては発生しませんでした。

以上の結果、コミュニケーション事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比219千円増(0.1%増)の249,570千円、セグメント利益は前年同期比1,559千円減(1.8%減)の87,356千円となりました。

②モバイル事業

フィーチャーフォン向けの着うたフルと着うたが、市場全体の縮小による影響を受け、退会者数が入会者数を上回る状況で推移し、これらの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ、それぞれ148,603千円減(34.5%減)、27,339千円減(41.9%減)となりました。一方、着メロについては、平成24年11月に株式会社セガよりセガカラMelody事業を譲受したことが寄与し、前年同期と比べ61,510千円増(88.6%増)となり、さらにスマートフォン向け音楽配信についても、月次ベースで着実に売上が伸び、前年同期と比べ26,625千円増(35.6%増)となりましたが、これらがフィーチャーフォン向けサービスの減収分を補うには至りませんでした。

以上の結果、モバイル事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比91,599千円減

(13.7%減)の575,310千円、セグメント利益は前年同期比15,119千円増(6.2%増)の260,648千円となりました。

③雑誌事業

現在、一般向け週刊エンタテインメント誌「オリ★スタ」、オーディション情報誌「月刊デ・ビュー」、エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「ORIGINAL CONFIDENCE」の3誌を発行していますが、雑誌の市場環境悪化の影響を受け、広告売上、購読売上がともに前年同期と比べて減少し、当第1四半期連結累計期間の雑誌事業全体の売上高は前年同期比44,072千円減(15.4%減)の242,933千円、セグメント利益は前年同期比22,230千円減(57.2%減)の16,654千円となりました。

④データサービス事業

データサービス事業については、音楽データベース提供サービス(放送局向け及びEコマースサイト向け)と、音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」とで構成されています。当第1四半期連結累計期間においては、「ORICON BiZ online」については、一部のユーザー(法人)において会社統合等による契約ID数の減少があったものの、ユーザーニーズに対応したカスタマイズ等を行って契約単価のアップを図り、売上高は前年同期と比べ微増しました。一方、音楽データベース提供サービスは、一部のEコマースサイトより解約があり、売上高は前年同期と比べ減少しました。

以上の結果、データサービス事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1,169千円減(0.9%減)の134,081千円、セグメント利益は前年同期比9,305千円増(26.6%増)の44,306千円となりました。

※着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,427,422千円となり、前連結会計年度末と比べ、27,559千円減少しました。現金及び預金は149,521千円増加しましたが、売掛金、のれん、投資有価証券などは減少しました。負債合計は2,446,729千円となり、前連結会計年度末と比べ、16,860千円増加しましたが、短期借入金の増加、未払法人税等及び長期借入金の減少が、主な変動要因であります。純資産合計は1,980,692千円となり、前連結会計年度末と比べ44,419千円減少しましたが、これは四半期純利益76,093千円を計上したものの、配当金117,880千円の支払があったためであります。自己資本比率については44.4%となり、前連結会計年度末と比べて0.7ポイントの低下、前第1四半期連結会計期間末と比べて5.2ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在、スマートフォン向けの音楽配信サービスとして、1曲ごとの音楽ダウンロードサービス「オリコンミュージックストア」を提供し、着実に売上が伸びていますが、新たな音楽需要を創造し、音楽市場の活性化と拡大に貢献するため、スマートフォン向けに新サービスを立ち上げる準備をしております。しかしながら、当該新サービスが新たなビジネスモデルであるため、当資料を開示する時点で、今後の収益を合理的に算出するには至っておりません。当社の連結業績に当該新サービスの収益が大きく影響を及ぼす見通しであるため、当該新サービスの今後の収益を算出できていない現時点においては、連結業績予想数値を合理的に算出することが困難であり、当資料には記載しておりません。今後、連結業績予想数値を合理的に算出することが可能になった時点で、当該予想数値を公表する予定です。また、配当

の予想額についても、当資料の開示時点において、業績予想数値を合理的に算出できていないため、未確定であります。今後、連結業績予想数値を合理的に算出することが可能になった時点で、配当予想額についてもお知らせする予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成 25 年 4 月 1 日付で、株式会社 oricon ME を存続会社とし、オリコンDD株式会社を消滅会社とする吸収合併を行いました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	910,433	1,059,954
受取手形及び売掛金	1,101,361	970,973
商品及び製品	11,702	11,838
仕掛品	9,805	10,190
その他	232,059	186,338
貸倒引当金	△1,584	△1,532
流動資産合計	2,263,777	2,237,763
固定資産		
有形固定資産	536,498	533,979
無形固定資産		
のれん	690,282	673,502
ソフトウェア	459,261	470,856
その他	3,209	3,209
無形固定資産合計	1,152,754	1,147,568
投資その他の資産		
投資有価証券	111,743	105,375
その他	397,728	412,036
投資損失引当金	△4,900	△4,900
貸倒引当金	△9,126	△10,217
投資その他の資産合計	495,445	502,294
固定資産合計	2,184,697	2,183,842
繰延資産	6,506	5,816
資産合計	4,454,981	4,427,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	321,207	297,307
短期借入金	390,000	690,000
1年内返済予定の長期借入金	346,136	344,528
1年内償還予定の社債	118,000	118,000
未払法人税等	108,150	28,637
返品調整引当金	22,570	15,428
その他	563,431	501,882
流動負債合計	1,869,496	1,995,783
固定負債		
社債	300,000	270,000
長期借入金	235,426	156,000
資産除去債務	14,965	14,965
その他	9,980	9,980
固定負債合計	560,371	450,945
負債合計	2,429,868	2,446,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,916	1,090,916
資本剰余金	12,799	12,799
利益剰余金	1,250,051	1,208,265
自己株式	△344,533	△344,533
株主資本合計	2,009,233	1,967,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	950	△1,682
その他の包括利益累計額合計	950	△1,682
新株予約権	14,927	14,927
純資産合計	2,025,112	1,980,692
負債純資産合計	4,454,981	4,427,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,357,553	1,259,443
売上原価	810,471	705,518
売上総利益	547,082	553,924
返品調整引当金戻入額	25,798	22,570
返品調整引当金繰入額	24,967	15,428
差引売上総利益	547,913	561,066
販売費及び一般管理費	420,143	403,700
営業利益	127,770	157,365
営業外収益		
受取利息	44	41
投資事業組合運用益	—	4,562
その他	741	960
営業外収益合計	785	5,565
営業外費用		
支払利息	7,686	5,871
株式関連費	5,622	9,254
その他	1,346	2,701
営業外費用合計	14,654	17,827
経常利益	113,900	145,103
特別利益		
新株予約権戻入益	239	—
特別利益合計	239	—
特別損失		
固定資産除却損	989	37
関係会社株式売却損	3,827	—
特別損失合計	4,817	37
税金等調整前四半期純利益	109,323	145,066
法人税、住民税及び事業税	31,332	37,164
法人税等調整額	30,324	31,807
法人税等合計	61,657	68,972
少数株主損益調整前四半期純利益	47,665	76,093
四半期純利益	47,665	76,093

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	47,665	76,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△717	△2,633
その他の包括利益合計	△717	△2,633
四半期包括利益	46,948	73,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,948	73,460
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	コミュニケーション	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	249,350	666,909	287,005	135,250	1,338,516	19,036	1,357,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,300	1,703	3,403	300	16,708	—	16,708
計	260,651	668,613	290,409	135,550	1,355,225	19,036	1,374,262
セグメント利益 又は損失(△)	88,915	245,529	38,885	35,000	408,331	△17,781	390,550

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーシャルゲーム事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	408,331
「その他」の区分の利益	△17,781
セグメント間取引消去	614
のれんの償却額	△12,502
全社費用(注)	△250,892
四半期連結損益計算書の営業利益	127,770

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	コミュニケーション	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	249,570	575,310	242,933	134,081	1,201,895	57,547	1,259,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,000	2,581	2,071	350	23,003	—	23,003
計	267,570	577,892	245,005	134,431	1,224,898	57,547	1,282,446
セグメント利益 又は損失(△)	87,356	260,648	16,654	44,306	408,966	△5,025	403,940

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーシャルゲーム事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	408,966
「その他」の区分の利益	△5,025
セグメント間取引消去	△2,061
のれんの償却額	△12,502
全社費用(注)	△232,011
四半期連結損益計算書の営業利益	157,365

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。